

令和7年度 学校給食優良学校・優良共同調理場一覧

1 愛知県学校給食優良学校・優良共同調理場表彰紹介

1	名古屋市立笹島小学校	〈学級数〉8学級〈児童数〉145名
	〈校長〉阿部 健一	〈所在地〉名古屋市中村区名駅四丁目19番1号
<p>「『なぜ食べる？どう食べる？』～課題に対して、夢中になって探究する活動を通して～」というテーマを掲げ、食育に取り組んでいる。</p> <p>特に授業実践は、食に関する指導の全体計画に則り、担任を中心に全教職員が授業に携わり、児童一人ひとりが食に対する課題について考えることで、食を通して自己と向き合ったり、他者に目を向けたりすることができる授業づくりを行っている。また、指導計画の中に栄養教諭の参画する授業を明記し、児童が食と自分との関わり方の視点から考え、「なぜ食べるのか」「どう食べるのか」の探究につなげられるよう工夫している。これらに加えて、専門の外部講師を招いた学習、現地に出向く校外学習、調理実習などを計画的に実施している。</p>		
2	一宮市立丹陽南小学校	〈学級数〉19学級〈生徒数〉492名
	〈校長〉野杵 章子	〈所在地〉一宮市丹陽町九日市場2666番地
<p>「『みんなそれぞれ とっておきの一人』であることを自覚し、夢とプライドを持ち、自他を大切にするとともに奉仕の心をもった児童を育てる」をもとに、食育の目標「自分の体を大切にするとともに望ましい食習慣を身につけられる子の育成」を目指している。食に関する全体指導計画に基づき、教科横断的に食に関する指導を行ったり、朝の学習タイムや給食後の時間を活用したりした食に関する指導は、一宮市の特産物を取り扱った、また体験を重視した内容となっている</p> <p>また、コミュニティ・スクールの方をゲストティーチャーとして招き、学校のすぐ前の畑を借りて栽培から収穫までを体験し、加工までつなげる実践もある。</p>		
3	西尾市立吉田小学校	〈学級数〉10学級〈生徒数〉228名
	〈校長〉河合 英子	〈所在地〉西尾市吉良町吉田大切間18番地
<p>校訓「よろこんで、しんけんに学ぶ、たくましい子」のもと、徳・知・体に「食」を加えた学校教育目標に向かって教育活動を進めるなど、20年以上も前から、食育に力を入れた教育活動を行っている。</p> <p>中でも「う・my弁当」の活動は、子どもが栄養バランスや食材、盛り付け方を工夫して弁当の献立を考え、その弁当を6年間の発達段階に合わせて、自分たちで調理して持ってくるというものである。家庭の理解や協力がなければ成り立たず、さらに食に関しての知識・技能が、子どもたちに身につけていなければできない。20年以上もこの活動を継続させてきた学校の努力は大きい。</p>		
4	豊山町給食センター	〈共有学校数〉小3・中1校〈総共有数〉1432名
	〈所長〉牛田 彰和	〈所在地〉西春日井郡豊山町大字青山字金剛185番地1
<p>子供、保護者、学校、そして地域を繋ぐ共同調理場としての役割を自覚し、まさに地域に密着した地産地消の取組を熱心に進めている。1名在籍の栄養教諭を中核とし、学校給食そして食に関する指導が提供・実施されており、地域住民の学校給食への理解に繋がるように、給食センター親子探検ツアーの開催や、農家や農作物を育てている住民からの学校給食への食材提供、教科の指導に合わせた献立の作成等を行っている。</p> <p>また、中学生の職場体験学習の受け入れ時の献立立案、不登校児童生徒を招いての食育指導、友好交流都市からの有機野菜等の導入、独居高齢者を対象とした「ふれあい食事会」の開催等多岐にわたる取組もある。</p>		

2 文部科学大臣学校給食表彰紹介（学級数・児童生徒数は令和6年度のもの）

1	半田市立乙川中学校	〈学級数〉32学級〈児童数〉845名
	〈校長〉波田 聡	〈所在地〉半田市大池町3丁目1番地
<p>研究テーマを、「食に関心をもち、健康な体をつくる食生活を自ら実践する生徒の育成 ～未来で活躍する人材の土台をつくる教育実践を通して～」とし、食への興味・関心を高める場面を設定することで、生徒自身の食の課題を把握し、健康の保持増進のための望ましい食習慣を主体的に身に付けようとする姿勢を育てることをねらいとしている。</p> <p>家庭科での地場産物を取り入れたメニューを考案したり、保護者や地域に向けた食に関する発信を通して、食への興味・関心を図ったりして食育を推進している。</p> <p>また、給食の残食調査や食育に関する授業を通して、食の課題を把握し、改善を図る取組や学級活動や学校保健委員会を通して、よりよい食習慣の推進を図る取組も秀逸である。</p>		
2	安城市立桜井中学校	〈学級数〉24学級〈生徒数〉744名
	〈校長〉鳥居 貴之	〈所在地〉安城市小川町的場丘1番地1
<p>学校教育目標「自ら考えて行動し、思いやりとたくましさのある生徒の育成」に向け、健やかな心身の発達のために「食を通して健康管理ができる生徒」を目指し、食育に取り組んでいる。栄養教諭を中心として教職員や地域・家庭との連携を計画的に進めたり、委員会活動等の生徒の主体的な活動を支えたり、特色ある実践を行っている。</p> <p>食に関する指導の全体計画にのっとり、「食事の重要性」や「感謝の心」、「心身の健康」を重視した食育の授業実践。毎日の給食の栄養素を栄養教諭がレーダーチャートで表し、校内に掲示をするとともに給食の時間にテレビ放送で流す取組。栄養教諭の思いや食材、献立の紹介などを毎日の「メッセージ」として記されている献立表や、食育だよりを毎月配付し、生徒の様子とともに食育に関する情報を伝える取組等、家庭・地域との連携に力を入れている。</p>		